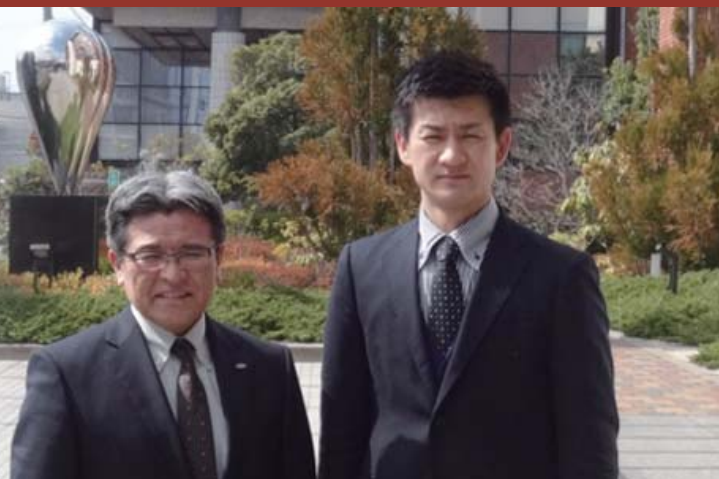


企業インタビュー

株式会社自重堂



会社名：株式会社自重堂
所在地：広島県福山市新市町大字戸手16-2
創業：大正13年（1924年）9月14日
従業員：264名（2015年1月現在）

事業概要
ユニフォーム・メンズカジュアル・医療用白衣・セーフティスニーカーの企画
製造・販売
ウェブサイトURL：<http://www.jichodo.co.jp/>



株式会社自重堂 業務本部 人事渉外担当
推進役 日村 俊之さん

Q.留学生採用のきっかけと背景について教えてください。

弊社は、ワーキングユニフォーム（業務用の制服・作業服）やメンズカジュアルウェアを手掛ける総合アパレルメーカーです。

とくにワーキングユニフォームでは売上げトップクラス。次々と新規分野への参入も図り市場開拓を進めています。医療現場で着用される白衣や介護用のユニフォームはそのひとつで、売上規模はまだ小さいものの将来性のある分野として期待しています。

さらにセーフティスニーカー（安全靴）の販売も開始し、衣服とは異なる事業の柱として育成を図り、安全と快適をコンセプトに商品展開を行っています。

2014年9月で創業90周年を迎えた当社ですが、この歴史に安住することなく常に積極進取の気風に溢れています。

弊社は2007年から留学生採用を始めました。以前から生産拠点は中国にシフトしていましたが、中国の工場生産していく上で、生産管理、品質管理、納期管理ができる人材が必要となったのが背景です。

Q.留学生採用と活用の状況について教えてください。

2007年以降、留学生を6名採用しています。特にここ数年（2013年～2015年）は毎年1名ずつ留学生を採用しています。

採用の形態としては、周辺の各大学の合同企業説明会や広島県留生活躍支援センターの合同企業説明会に出展したりしています。

留学生はバイタリティが溢れる人材が多く、同年代の日本人学生に比べても学ぶべきところは多くあるし、配属後に職場が活性化するメリットは感じられます。

配属先は海外の工場との折衝を行う海外事業課に配属しており、生産管理、品質管理、納期管理等の業務を行っています。

キャリアパスについても日本人と同じ形で行っています。

譚さんは非常に優秀だったので、通常はもう少ししかかるのですが、入社4年目で主任と

いう役職に昇格し、海外の生産拠点の開拓等に活躍するロールモデルとなってきています。

Q.留学生の受け入れについて企業として配慮している点等教えてください。

2007年に初めて留学生を採用した際は、当時何もビザの手続きが分からなかったため、特に就労ビザの切り替えについては本人と色々相談しながら苦労しました。

外国人を受け入れる際に、当初は、違う文化背景を持つ人材を受け入れることで危惧しましたが、実際に受け入れをしてみて特に困ったことはありませんでした。

それは学生時代に日本で生活して、日本の文化の知識を得て、充分理解もされているからだだと思います。

留学生の為ではないですが、弊社は、本社から歩いて通える範囲に独身寮や社宅を保有しています。

留学生は住居を借りるときに日本人の保証人等が必要となるためそういった煩雑な

手続きが不要になるので、留学生には住宅のケアは喜ばれます。

また、インターナショナル休暇制度を実施しております。

この制度は、外国籍の社員に対し、出身国の祝日（春節）に応じて年に1回特別な長期休暇を取得できるように、有給休暇扱いではありませんが外国人社員の母国の文化慣習を尊重し配慮しています。

Q.キャリアパスや期待する事について教えてください。

現在中国籍の留学生を雇用していますが、生産拠点が東南アジアへシフトしていく中で、東南アジアの言語や文化に精通している人材を積極的に採用したいと思っています。

モノづくりだけでなく市場を含めて海外戦略の一翼を担ってほしいと考えています。